

〈エゴノキの花〉

エゴノキの花が咲き出した。庭には白い花、畑にはピンク色の花が咲いている。もう何日か前に咲いていたようだが、庭の花には全然気づかなかった。葉に隠れて下向きに咲く花は、見上げないとそれとは気づかない。多くの花がお日様に顔を向けて咲くのだが、この花は下向きに咲く。その昔、何か悪いことをしてお天道様に顔向けできないのだろうか？そう言えば、エゴノキの実には“エゴサポニン”という毒があるそうで、そんな毒物を作った罰として下向きにさせられている？なんて空想するのも面白い。新緑に包まれた純白の花はそれはそれは可愛らしく、たくさんの花が枝からぶら下がり春風に揺れている。幼稚園児のお遊戯のようで何とも微笑ましい。もう少しすると、花全体がクルクルと落ちて地面を真っ白にする。役目を終えたらジタバタせずに潔くパッと散る。秋には卵型の実が生り鳥のエサとなる。どこを取っても完璧で非の打ち所がない花だ。

